

## 医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部附属病院産科婦人科では、医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

2019年1月 福井大学医学部附属病院 産科婦人科

### 【研究課題名】

子宮内膜症における微量元素及び酸化ストレスによる慢性的炎症の検討

### 【研究期間】

承認日～2020年12月31日

### 【研究の意義・目的】

子宮内膜症の発症の原因解明および活性酸素や微量元素、脂質メディエーターをターゲットとした治療方法の開発を行える可能性があります。

### 【研究の内容】

#### 1. 研究の対象となる方

1998年1月1日から2018年12月31日の間に、手術を受けた方が対象となります。子宮内膜症の方と、子宮内膜症ではない方を比較する研究のため、どちらの方でも対象となります。

## 2. 研究に用いる試料・情報

1. 手術中に採取した組織、腹水、術前採血の残血清
2. 手術中の腹腔内所見、手術後の病理検査所見

## 2. 研究の方法

子宮内膜症は小さな傷で行う腹腔鏡下手術あるいはお腹に大きめの傷をいれる開腹手術により診断されます。実際にお腹の中を見て、その見た目ですら子宮内膜症かを判断します。腹腔内の腹水を採取し、回収します。それで微量元素の量や、腹腔内酸化ストレス、脂質メディエーターの程度を測定します。摘出した組織でも同様の測定を行います。

### 【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

### 【個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先】

本研究で利用する試料・情報からは、お名前、住所など、直接ご本人を同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。取り扱う情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。なお、保有個人情報の利用目的等に関して、詳細をお知りになりたい場合は下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

### 【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

[http://www.u-fukui.ac.jp/cont\\_about/corporate/privacy/](http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/corporate/privacy/)

### 【研究責任者】

福井大学医学部附属病院 産科婦人科 教授 吉田好雄

### 【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院 産科婦人科 助教 大沼利通

電話:0776-61-8392

FAX:0776-61-8117

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話:0776-61-8529

受付時間:平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)